

災害なんかに負けない地域をつくりよう！

北区西味鋺学区

災害避難行動マップ

この災害避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、西味鋺学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所などについて話し合って作成したもの。

この災害避難行動マップをもとに、「いざ」という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

パソコンやスマートフォンでも
防災マップを見るることができます。
<http://www.platform.or.jp/map/sp/4/164/>



役に立つもの

地下式給水栓

地下式給水栓は、災害時に地域のみなさまが自ら操作をしていただくことで、飲料水を確保することができる災害用のじゃく口です。



下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。



コンビニエンスストアなど

このステッカーの貼っている店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗です。トイレや避難スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援協力が得られます。

地域防災協力事業所

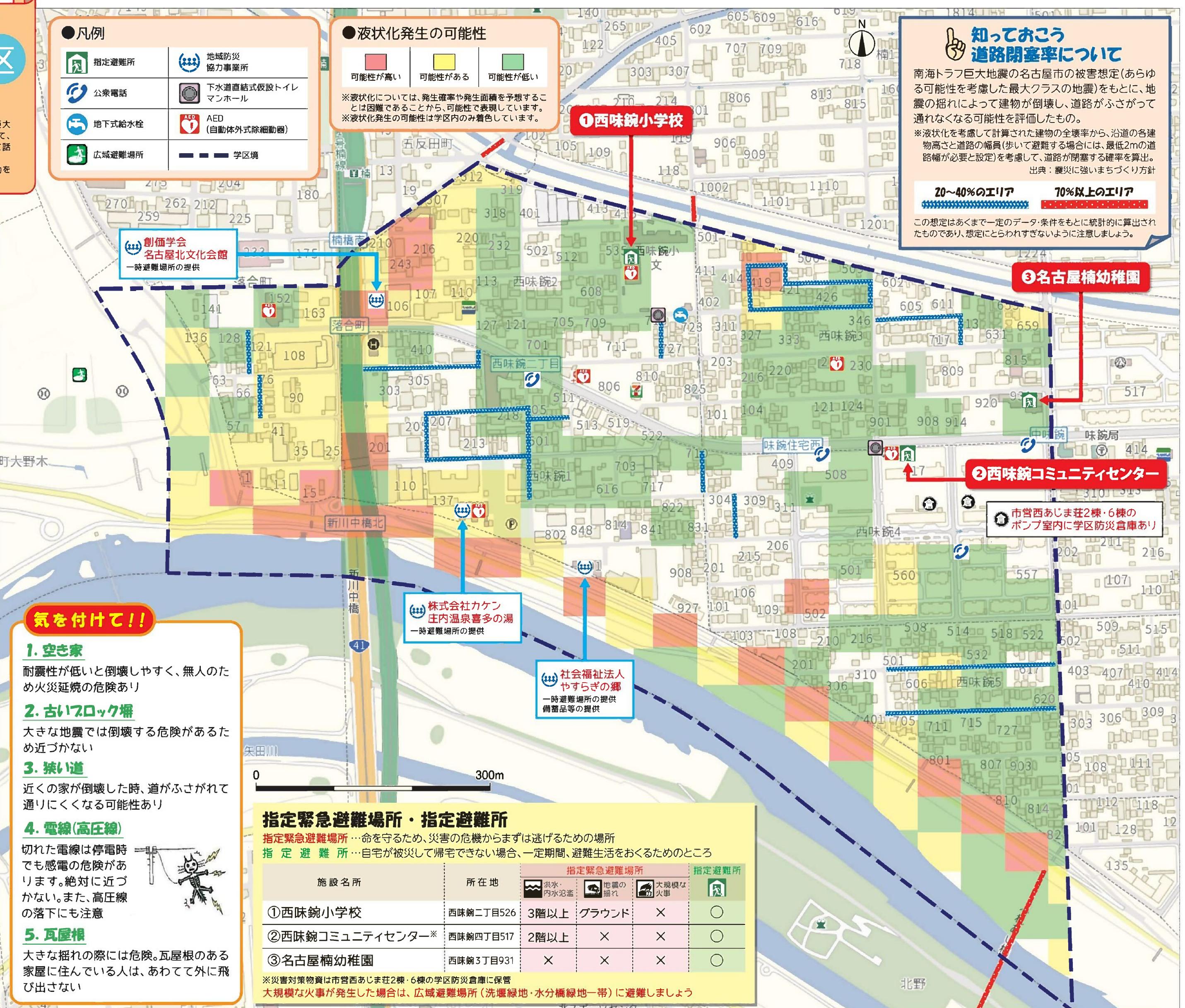
災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

公衆電話

NTTが設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし、国際電話は使えません。

●凡例	
指定避難所	地域防災協力事業所
公衆電話	下水道直結式仮設トイレ
地下式給水栓	AED (自動体外式除細動器)
広域避難場所	学区境

●液状化発生の可能性		
可能性が高い	可能性がある	可能性が低い
※液状化については、発生確率や発生面積を予想することは困難であることから、可能性で表現しています。 ※液状化発生の可能性は学区内のみ色付いています。		



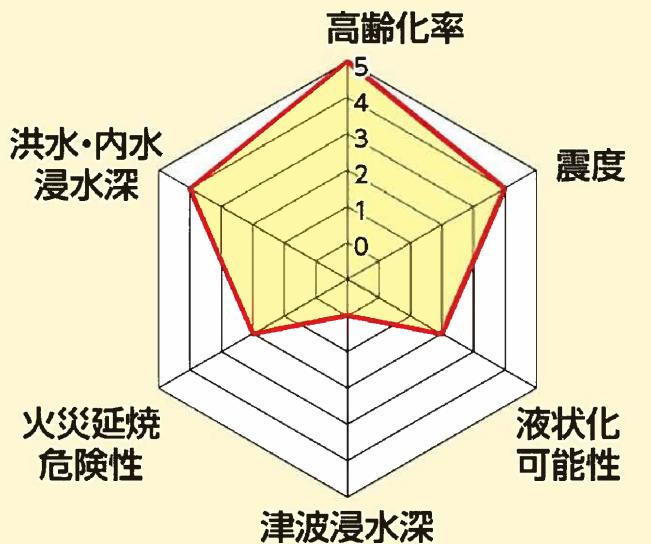
北区 西味鋺学区 災害時の特性

西味鋺学区では、南海トラフ地震が発生した場合、震度6強の揺れが起こる可能性が想定されています。火災が発生した場合は、燃えて倒壊する建物が道を塞いだり、強い熱風が吹き荒れる懸念があります。また、液状化現象が起こる可能性が高い箇所もあり、建物が傾いたり、泥水が溢れだし道を通ることができなくなる可能性があります。

また、大雨等により矢田川がはん濫した場合は、4.0mから5.0mの浸水が想定されています。

リスクレーダーチャート

	値	5段階
高齢化率	31.8%	5
震 度	6強	4
液状化可能性	主に小～中	2
津波浸水深	0m	0
火災延焼危険性	500～1,000棟未満	2
洪水・内水浸水深	4.0m～5.0m未満	4



※各指標の5段階の基準は、地区防災カルテに基づきます。

地区防災カルテは名古屋市公式ウェブサイトをご覧ください。

地区防災カルテは
こちらからアクセス



普段からの備え

家族や自治会で話し合うなど

日頃から防災・減災意識を高め、いざという時に備えましょう。

▶ 建物を耐震化する。

- 昭和56年5月以前に着工した住宅には助成制度があります。

▶ 家具を固定する。(転倒防止対策)

- 家具に押しつぶされたり、避難の妨げとならないよう家具等を固定しましょう。

▶ 非常持出品・備蓄品を準備しましょう。

- 水や食糧、携帯用トイレ等の備蓄品を1週間分、
そのうち3日分は非常持出品として持ち運びができるようにしましょう。

▶ 安否確認方法を決めておく。

- 災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板サービスを確認しておきましょう。
(毎月1日・15日、正月三が日、防災週間などに体験できます。)

▶ 指定緊急避難場所、指定避難所等を確認する。

- 避難場所等を確認しておきましょう。また、避難するルートも確認しましょう。



地震発生! 西味鋺学区災害時の対応ルール

激しい揺れ

- 頭を守り、倒れるもの・動くものから離れる
- 揺れがおさまるまで体を低くして動かない
- 避難口を開ける



すぐに家から飛び出さない
冷静に!!

揺れがおさまった

- 怪我をしないように靴やスリッパを履く
- 家族の安否確認・自宅の被害状況の確認
- 火の元の確認、出火したら初期消火
- 非常持出品の準備
- テレビ、ラジオ、スマートフォンなどから正しい情報を入手
- 電気のブレーカーを落とす・ガスの元栓をしめる
- 被害がなければ「学区独自印」を玄関の分かりやすい場所に掲出する



隣近所で安否確認・救助

- 火災が起きたら、隣近所で協力してすぐに消滅しよう
- 組の皆さんで協力して安否確認をしましょう(高齢者や障害者の安否確認)
- 自治会長は、災害対策名簿を基に安否確認に努める
- 救助が必要な人を見つけたら、周りに声掛けをして助けましょう



付近で火災等の危険発生

- 火災が延焼拡大した場合は、広域避難場所などの身を守ることができる場所へ避難
- 火災を避け、風上に逃げる
- 倒壊家屋が道を塞ぎ、火災が延焼するので注意



危険がなくなったら 自宅での滞在が可能か

- 在宅避難 ✗ 指定避難所

自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を!

- 避難所では不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋崩壊などの危険がない場合は、自宅で避難生活を続ける“在宅避難”を考えましょう
- 災害救助地区本部(西味鋺小学校)に在宅避難を知らせよう!
 - 周囲で声掛けし、助け合おう!



一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障害のある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

例えばこんな方

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障害のある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

対応方法

- 優しい言葉でゆっくり声かけ
- メモや、身振りで伝える



移動が難しい方

例えばこんな方

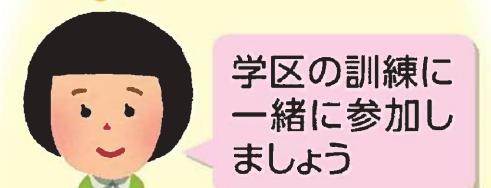
普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

対応方法

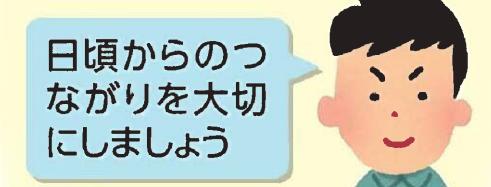
- 複数で手伝う
- 身近にあるものを利用する



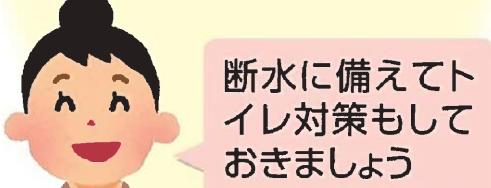
住民からのメッセージ



学区の訓練に
一緒に参加し
ましょう



日頃からのつ
ながりを大
切にしま
しょう



断水に備えてト
イレ対策もして
おきま
しょう

平常時

このプレートの使い方

平常時

下記の「地震発生時の時間系列」の内容をお読みいただき、地震発生時にあわてずに行動ができるよう備えましょう。

災害時

災害時に無事を知らせるために、外側のドアノブにかけましょう。

チェック欄を確認し記載しましょう。

※必要に応じて上部○印に穴を開けてご活用ください。

地震発生時の時間系列

地震発生 最初の大きな揺れは約1分間

姿勢を低くし頭を守る

1～2分 揺れがおさまったら玄関・出口の確保

火が出たら素早く消火

家族の安全を確認

3分

ラジオなどで正しい情報を

津波の危険がある場合は速やかに避難

隣近所に声を掛ける

自治会長は災害対策名簿をもとに安否確認に努める

出火防止・初期消火

余震に注意



72時間が災害救助のゴールデンタイム

協力して消火、

救出・救護活動を実施

いざというときに連携が取れるよう、日頃から隣近所と顔の見える関係を作つておきましょう。

安
害
時

この家は

無事
です。



Please don't worry.

- 電気(ブレーカー)
- 火の元(ストーブ等)
- ガス(元栓)

メモ欄

上記チェックしました

西味鋤学区連絡協議会・連合自治会